

中曾根康隆氏(35)
自民・比例



本県関係員
衆院議員

経済や改憲 持論熱く

第48回衆院選は自民・公明両党が改選前勢力をほぼ維持し、定数の3分の2となる310議席を獲得した。県内でも自民が5小選挙区を独占し、比例代表単独候補も当選した。選挙前に分裂した野党では、立憲民主党の候補者1人が比例で復

活当選し、比例代表単独候補も議席を得た。開会中の特別国会では北朝鮮情勢や少子化対策、森友・加計学園問題などで論戦が繰り広げられている。本県関係の衆院議員9人に選挙の受け止めや抱負を聞いた。

①急な選挙で準備不足もあつたが、同志の力で何とか当選できた。重責を自覚し、群馬、日本の役に立てよう精進したい。自民への逆風があつたが会前には風向きが変わり、野党への不満票が流れたのだろう。消去法で選ばれるのではなく、前向きに「任せたい」と言われる自民にならないといけない。身を引き締め、政権与党として日本のかし取りをしたい。

②アベノミクスで景気は回復基調で数字には表れているが、群馬で実感している人は少なく、道半ば。最速で改憲の議論が、国民の関心も高まってきている。安倍首相の外遊回数は戦後最多で、世界にも日本の存在感を示している。ただ、少子高齢化や地方創生、財源の確保などの国家的課題は山積している。困難に、謙虚

にしつかりと向き合わなければいけない。③戦後、タブー視されてきた改憲の議論だが、国民の関心も高まってきている。戦後70年以上がたつて国内外の状況は大きく変わった。自分たちで自分たちのルールを真直したい。具体的には国民から高い信頼を得ている自衛隊の9条へ

の明記や、地方創生にも逆行する参院の合区の解消に向けた改正が必要だ。ただ、自民党だけの問題ではないので、各党と連携しながら

中小企業元気づける

夢を見られる国を造りたい。地域の活力こそが国の力なので群馬の活性化を目指す。雇用を増やすためにも企業の99.7%を占める中小企業を元気づけたい。高齢者福祉を支える人材の確保や若者の定着支援、観光振興にも取り組む。「関東の台所」ともいわれている群馬で、魅力的で稼げる農業を上げ、後継者不足の問題も解消したい。

質問項目

- ①衆院選の結果をどう受け止めるか
- ②発足から約5年となる安倍政権をどう評価するか
- ③加憲が予想される改憲議論への考えや対応は
- ④任期中に重点的に取り組む政策課題は